

子どもの学びを第一に！地域の声を聴きながら！

6 令和8年度審議会スケジュール

	開催日	主な内容
第6回	4月28日(火)	・中間まとめパブリックコメント及び対応方針(案)の共有 ・学校施設整備にあたっての考え方 (これからの武蔵野市の学校教育に求められる目標と施策の基本的な方向性)
第7回	6月30日(火)	・学校施設整備にあたっての考え方(学校施設整備に向けた考え方) ・計画・設計の具体的事項(施設規模、施設の配置と整備方針)
第8回	8月24日(月)	・計画・設計の具体的事項(施設規模、施設の配置と整備方針) ・整備スケジュールと費用の見通し(整備スケジュール、事業費(現段階の参考試算)について)
第9回	10月5日(月)	・答申(案)に関する審議
	11月21日(土)～ 12月2日(水)	・答申(案)に対するパブリックコメント募集
第10回	12月21日(月)	・答申

7 審議会経過説明会を開催します！

審議会での審議経過説明会を開催します。

- ① 令和8年7月1日(水)午後6時から @第六中体育館
- ② 令和8年7月2日(木)午後6時30分から @第二中体育館
- ③ 令和8年7月4日(土)午前10時から @スイングホールスカイルーム

申込み不要。
ぜひご参加ください。

これまで発行したリーフレットはコチラ⇒

- ・Vol.1 R6年12月発行
- ・Vol.2 R7年3月発行
- ・Vol.3 R7年7月発行
- ・Vol.4 R7年10月発行
- ・Vol.5 R7年12月発行
- ・Vol.6 R8年2月発行
- ・Vol.7 R8年3月発行



発行:令和8年6月 武蔵野市教育委員会 教育企画課 学校改築係
TEL:0422-60-1972 FAX:0422-51-9264
MAIL:SEC-KYOUIKU@city.musashino.lg.jp

＜武蔵野市教育委員会リーフレット＞

みんなで考えよう！

武蔵野市の未来の学校づくり vol.8

4月28日開催

第6回審議会 News

審議会は13名(校長、PTA、地域住民、学識経験者、市職員)で構成



令和7年度に開催した5回の審議会を踏まえ、令和8年3月、審議会より「中間まとめ」が公表されました。また、「中間まとめ」に対するパブリックコメントを募集し、79件のご意見が提出されました。

4月28日開催の第二期学校施設整備基本計画策定審議会(第6回)では、「パブリックコメントへの対応方針」、「未来を見据えた校舎のあり方」について、各委員による審議が行われました。

審議会から提出された中間まとめの主な事項

＜適正規模＞

小中学校の適正規模については、1校「12～18学級」にまとまりました。
(小学校:1学年2～3学級、中学校:1学年4～6学級)

※以下の文中では、1校12～18学級を「審議会としてまとめた適正規模」と記載しています。

＜第二中、第六中改築に関する方策＞

第二中・第六中を再編し統合新校を設置することが望ましい。

子どもの学びを第一に
審議しました！



パブリックコメント詳細
はコチラ↑

1 中間まとめに対するパブリックコメントへの審議会としての対応方針

意見	審議会としての対応方針
今後、生徒数が減少していくことへの対応が必要。	審議会としてまとめた適正規模を確保することにより、多様な人間関係を学べる。また、教員が多くなることで学校
教員を確保し指導体制を整えることが重要である。	事務を分担でき、教員の充実した指導体制を確保できる。
多様な人間関係を体験する必要がある。	
通学距離が遠くなることで生徒に負担がかかる。	自転車通学を認めることや学区の弾力化などの対応が考えられる。
審議会としてまとめた適正規模に満たない学校の方がきめ細かい指導ができる。	教員の数は学級数に応じて配置されるため、審議会としてまとめた適正規模の学校ではきめ細かい指導ができる。
第二中、第六中を再編すると、第六中エリアの地域活動拠点及び避難所がなくなる。	学校が減ることについての地域への丁寧な説明が必要である。また、避難所の計画についても検討が必要である。
1学級当たりの人数を減らしてほしい。	1学級当たりの人数は国及び東京都教育委員会が定める事項のため、市の権限では対応が困難である。
未来の教育を見据えた校舎についてもっと議論すべき。	令和8年度の審議会で審議する。

【次回(第7回)の審議内容】

学校施設整備にあたっての考え方、計画・設計の具体的事項について審議予定。

第7回審議会は、6月30日(火)17時～開催予定です

オンライン傍聴
申込はコチラ⇒



子どもの学びを第一に！今年度もさらに審議を深めます！

2 児童生徒にアンケートを答えてもらいました！

市内市立 18 校の小中学生(小学4年生～中学3年生)を対象にアンケートを実施し、1,259 名から回答をいただきました。今後の審議で活かされる予定です。



回答者
計1,259名

対象:小学4年生～中学3年生

Q1 学校で大切にしたい活動や場所について(複数回答可)

- 第1位 授業が楽しくなるといい 936 件(74.3%)
- 第2位 学校で使う荷物をしまえる十分なスペースがほしい 685 件(54.5%)
- 第3位 放課後も友達と一緒に活動できる場所がほしい 664 件(52.7%)
- 第4位 広々とした教室がほしい 663 件(52.7%)
- 第5位 地震などの災害の時に安心して避難できる場所がほしい 626 件(49.7%)
- 第6位 学校に一人になれる場所など、色々な居場所がほしい 616 件(48.9%)
- 第7位 様々な体験や交流ができる場所がほしい 572 件(45.4%)
- 第8位 学校の中に一人で集中できる場所がほしい 537 件(42.7%)
- 第9位 学習者用コンピュータをもっと活用したい 487 件(38.7%)
- 第10位 本を静かに読んだり楽しんだりする場所がほしい 472 件(37.4%)

Q2 中間まとめに対する自由意見について

- ・意見あり 52 件(4.1%)
- ・意見なし 1,207 件(95.9%)

アンケート
詳細は
コチラ→



3 第二中、第六中再編に対し、第6回審議会に出された主な意見

審議会資料・
議事録は
コチラ→



第二中、第六中再編に対し、審議会委員及び事務局から、主に以下の発言がありました。

- ・第二中、第六中を再編し統合新校を設置する場合、現在第六中を避難所としている地域住民の避難所はどうか。
⇒<事務局からの説明>現状の第六中、第二小、武蔵高校、第二中、桜野小の各避難所区割りの最長距離及び各避難所間の距離を説明。(詳細は審議会当日資料参照)
- ・審議会としてまとめた適正規模に満たない学校の方がきめ細かい指導が可能という意見があるが、実際はどうか。
⇒<他の委員からの発言>審議会としてまとめた適正規模の学校では、正規教員が多く配置されるため、教員1人あたりの学校事務が少なくなり、負担を小さくできる。その結果、生徒一人ひとりに向き合う時間を確保しやすくなる。
- ・第二中、第六中が再編し統合新校を設置する場合、通学距離はどの程度になるのか。
⇒<事務局からの説明>第六中学区の最長通学距離は約 1,800mから約 2,700m になる。
- ・学区弾力化で第五中を選択という案が出ているが、第五中で受け入れられるのか。
- ・自転車通学の導入という案が出ているが、安全に通学することは可能なのか。
- ・統合新校を建て替える敷地について、第二中及び旧桜堤小敷地が想定されているが、通学距離が長くなるため、学区のほぼ中央にある公園敷地での建て替えはできないのか。

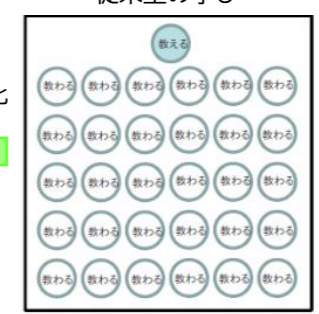
4 実績を踏まえた学校施設整備にあたっての考え方【第6回審議会事務局から説明】

現行の計画に基づき建て替えを進めてきた4校(第一中、第五中、第五小、井之頭小)の実績を踏まえた学校施設整備の考え方について、事務局から説明しました。概要は以下のとおりです。

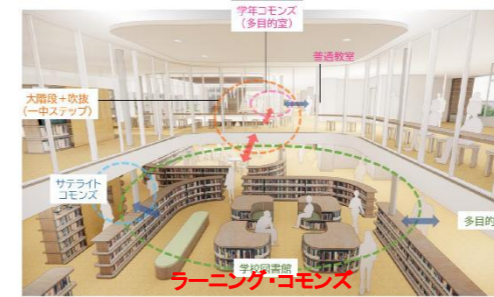
新しい学び



従来型の学び



授業形態の変化



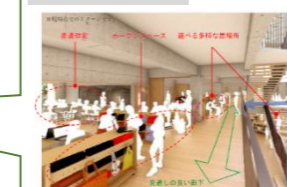
校舎全体をゆるやかにつなぐ学びの空間整備
ラーニング・コモンズ(学校図書館)を学校の中心に配置し、普通教室、特別教室、**学年コモンズ(中学校のみ)**、**オープンスペース(小学校のみ)**を一体的に連続させることで、「見る・見られる」の関係から自発的な学びを促す空間を目指す

学年コモンズ(学年多目的室)



・個別学習、グループ学習、学年や複数の学級での集会等、多様な利用形態に対応できる
・生徒同士や教員と交流できる

オープンスペース



・様々な学習活動への柔軟な対応ができる
・従来の教室型の授業スタイル以外にも、可動間仕切りを開放し、机を並び替えたり、床に座ることで、グループ学習ができる

5 3駅圏で中間まとめ説明会を開催しました！



地域・保護者

出席者
91名

令和8年3月開催

説明会動画
・質疑回答集は
コチラ→

YouTube 配信中
ぜひご覧ください！



第二期学校施設整備基本計画
中間まとめ 説明会
@3駅圏 R8年3月10日 12日 15日 28日

- 1 教育を第一に話し合っています。
- 2 パブリックコメントを募集しています。(令和8年3月15日～4月4日まで)



市内3駅圏(吉祥寺、中央、武蔵境)で中間まとめに関する説明会を開催し、中間まとめの内容について説明したうえで、質疑応答も行いました。

《主な質問と回答》

Q1 第二中、第六中を再編し統合新校を設置することが望ましいと考える。再編により削減できるコストは子どものために使ってほしい。
A1 審議会の中でも同様の意見があった。

Q2 第二中、第六中の再編について検討されているが、なぜ他の学校については検討しないのか。また、審議会としてまとめた適正規模(12学級以上18学級以下)に満たない規模のまま存続する意見が審議会でも出ていた。地域や将来第二中、第六中に通うことになる世代の保護者にしっかり説明してほしい。

A2 第二期計画の計画期間中に改築を予定している第二中、第六中が、審議会としてまとめた適正規模を下回る見込みがあるため、両校を改築する上での方策が審議された。今後地域に説明をしていきたいと考えている。